

【いきいき茨城ゆめ国体2019】

伊藤あすみ

いきいき茨城ゆめ国体に和歌山県代表として出場させていただき、ありがとうございました。

希望郷いわて国体（2016年）、福井しあわせ元気国体（2018年）に続き、3度目の挑戦となりました。

結果は、33位／91名と和歌山県に貢献できるような順位ではありませんが、自分としては、現状の力を出し切り、過去最高順位でフィニッシュをすることができました。

何より、同じ和歌山県代表の西岡真紀選手が7位入賞という素晴らしい成績を残し、女子総合成績でも7位入賞を果たすことができました。

西岡真紀選手とは、トライアスロンが正式種目となった希望郷いわて国体から一緒に出場させていただいていますが、毎年着実に力をつけ、いつもワクワクするレースをみせてくれています。今回も周囲の期待に応え、素晴らしいレースをしてくれました。

心に残る感動的な時間を一緒に過ごさせていただいたことに感謝しかありません。

私も少しずつでも成長し、人の心を動かすようなレースをしたいと思わせていただきました。

和歌山県トライアスロン連合のみなさまには、本番はもちろん、本番にいたるまで、たくさんのサポートをしていただきました。

和歌山県にはスクールや部活などがほとんどないため、指導を受ける機会を得ることが難しい環境ですが、それでも選手のために練習会を企画してくださったり、プールを開放して練習場所を提供していただいたりとできる限りのサポートをしてくださいました。

たくさんのサポートをいただく中で、選手同士も協力し、練習メニューを考えたり、国体に向けて一緒に練習をしたりとコツコツと高め合うことができたと思います。

自分たちで考えて協力し合う日々を過ごしたことで、結束力が高まり、とても雰囲気の良いチームになったと感じています。

また、忙しい中惜しみなくサポートをしてくださる方々の優しさをひしひしと感じ、支えてくださった方々に喜んでもらえるようなレースをしたいとさらに士気を高めることができました。

国体は、各選手が都道府県を背負って出場しており、特別な雰囲気をもった大会です。

プレッシャーもありますが、それに勝る素晴らしい経験をすることができます。

また挑戦する機会を得られるよう日々精進したいと思います。

大会を開催してくださった茨城県、競技関係者のみなさま、和歌山県トライアスロン連合のみなさま、力強い声援を送ってくださった方々、ともに闘った和歌山県の仲間や全国の選手をはじめ、関わって下さったすべての方に心より感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

以上